

股・膝関節の人工関節置換術施行患者に対する早期リハビリテーション（術後4日以内）の実施率

指標の説明

早期にリハビリテーションを開始し、廃用症候群を予防していることを表す指標です。人工膝関節全置換術後の過度な安静は、廃用症候群を引き起こす原因となります。早期にリハビリテーションを開始することで、深部静脈血栓症の発生頻度を低下させることにもつながります。ADL、QOLの維持のためにも、早期にリハビリテーションが開始することが重要です。

指標の算出式

分子 分母のうち、手術当日から数えて4日以内にリハビリテーションが行われた患者数

分母 股・膝関節の人工関節全置換術を施行した退院患者数

指標の種類と値の解釈

プロセス

目標値

95%

グラフ

